

4. 連携・連帯でつくるまちづくり

屯田地区Cネット会議における平成26年度の取り組み

屯田地区コミュニティネットワーク会議 議長 さかた 坂田 ふみまさ 文正

【はじめに】

屯田地区コミュニティネットワーク会議は、屯田連合町内会を始め屯田地区の55の町内会・自治会や43の団体の集合体となっています。安全・安心なまちづくりや地域が一丸となって住みよい屯田の地域づくりを行うことを目的としており、地域を挙げて取り組む必要がある際に活動する組織です。

この組織は平成11年に設置しており、この間、団体間の活動等の情報交換と相互理解の増進、地域課題等の整理や課題解決策の検討などに取り組んできたところです。

【活動内容】

ここで、平成26年度における屯田地区Cネット会議における活動をご紹介します。

まず、6月に開催した総会において、前年度活動報告を行うとともに、26年度については、「防犯サミット」及び「ふれあい交流もちつき大会」の開催、さらに、「地域課題の検討」の主に3事業を実施することとしました。

以下にこれら事業の一端を掲載します。

① 防犯サミット

屯田地区では、防犯パトロール隊が活躍していますが、このとんぼ隊などとも連携し10月8日(水)



主催者挨拶



司会（松井とんぼ隊隊長）



北警察署の講義

に屯田地区センターにおいて開催しました。

北警察署から講師を招き、「屯田地域の犯罪情勢」についての講義を行いました。また、刑務所の慰問コンサートを継続して実施しているグループ「Paix²（ペペ）」が出演し、慰問活動、安全安心に関する講演を行いました。

② ふれあい交流「餅つき大会」

この事業は、地区の子ども達や高齢者、地域の方々が一体となって、日本の伝統的な楽しみの一



会場全景



ペペの講演

つである「もちつき」を行うことにより、わが国の食文化への理解を深めるとともに、地域における相互扶助の輪を広げることを目的にふれあい交流推進事業として実施しています。

連合町内会、社会福祉協議会、民生児童委員協議会、日赤奉仕団、子ども会育成連合会等と連携し、11月23日（勤労感謝の日）に屯田地区センターで開催しました。

当日は、約800名の住民が参加し、子ども達に杵と臼の使い方を教えながら餅つきを体験してもらうとともに、総計70kgものつきたてのもちを味わっていただきました。



餅つき大会の様子

③ 地域課題の検討

6月の総会で検討対象を、「みずほ緑道の再整備」、「北方系自然博物館の設置」、「市有地の活用方法」の3分野としたことから、それぞれ検討委員会を立ち上げ協議することとしました。

「みずほ緑道の再整備」では、さらに地区別の2班編成で昼夜の現地調査を行い、現状での課題及び対応策についてとりまとめました。

また、「北方系自然博物館」では、まず、博物館活動センターで現在の博物館に関する構想・計画

を確認することから始め、過年度策定の北区まちづくりビジョンに沿った考えで自然博物館の設置についての提言をとりまとめました。

さらに、「屯田にある市有地」については、現在の地区の課題を念頭に、市有地を有効に活用した場合の利用方法について、屯田地区で温泉湧出の可能性あるかを北海道の専門機関に確認するなど意欲的に協議、検討しました。

何れの検討委員会においても、各々のテーマに沿った住民や団体の方が集まり、何度も協議を重ねたところであり、その中で互いの考え方を再認識するとともに、地域のためにという思いを一つにしたところです。

最終的にこれらの検討結果については、それぞれ要望書の形式でとりまとめておりますが、地域の多くの方が集まり、幾度もの協議を重ねたことが最大の成果であると確信しています。

【おわりに】

屯田地区では、12月に単位町内会が増えており、現在も人口が増加中です。また、主にみずほ緑道北側の地区では、現在も住宅が増え、子どもも増加しております。その一方で、早くから開発され、高齢化の著しい地区もあることは事実です。

これらが端的に示しているように、地域には、種々の課題があり、種々の団体が地域のために活動しています。Cネット会議では、今後も地域の課題に自ら考え、地域一丸となった対応を検討していきたいと考えています。

さらに、当地区は、3万7千人という人口と面的な広がりがあることから、地域全体の連携を深めるため、多くの地域住民や各団体をつなげていく場として、多くの皆様に来ていただき、世代間、地区間をつなげるようなイベントも継続して開催していきたいと強く願っています。

○お問い合わせ

屯田まちづくりセンター
TEL.011-772-1260